

i-LAPPO

ティルト・リクライニング車椅子

取り扱い説明書



この取り扱い説明書は、商品を安全に使用していただくため、正しい使用方法や、注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みください。

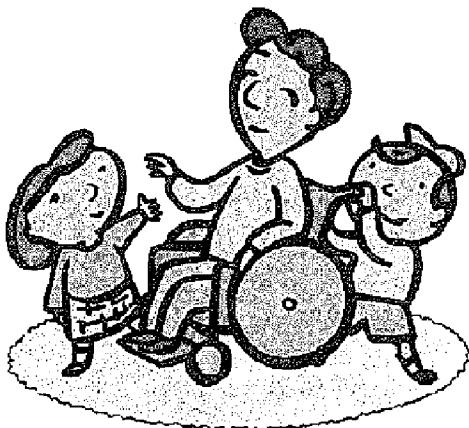


カナヤママシナリー株式会社

製品のチェック

以下の点は、出荷時にチェックしていますが、搬送中のトラブルもありますので、必ずお確かめください。

- 4輪とも車輪が床に接地しているか
- ティルトレバー・リクライニングレバーで座面の上げ下げ、背もたれの上げ下げができるか、また、任意の位置で固定ができるか
- 前後輪ともスムーズに回転するか
- 転倒防止バーのロック、解除や上下の高さ調整、反転ができるか
- アームレスト、レッグポスト、ヘッドレストの高さ、前後調整ができるか



本書の目次

調整は正しい順序で行われることが大切です。最初に正しく座る姿勢に調整し、次に運転目的に合ったバランスを調整します。座る姿勢が変わると車椅子のバランスも変わるので、この順序を守ってください。

安全にご使用いただくために	2	フットプレートの調整・スイングアウト機構と着脱	11
警告	2・3・4	押手・転倒防止バーの調整	12
注意	4	座面高の設定・折りたたみ方式	13
各部の名称	5	ガススプリングについて	14
各可動域説明図・ご使用になる前に	6	ブレーキについて・段差乗り越えの方法	15
座面角度と背もたれ角度の調整	7	メンテナンスとお手入れ	16
エレベーティング・ふくらはぎパッドの調整	8	主な乗り方・廃棄について	17
ヘッドレスト・背もたれの調整	9	仕様	18
縦ベルト・アームレストの調整	10	保証書	19

安全にご使用いただくために

必ずお守りください

お使いになるかたや他のかたへの危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を説明してあります。

■表示内容を無視して、誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を説明してあります。



この表示欄は、『死亡または重傷に至る可能性が想定される』内容です。



この表示欄は、『傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される』内容です。

■お守りいただく内容を説明してあります。



この表示は、してはいけない『禁止』内容です。



この表示は、していただく『強制』内容です。



（）こわれかけた状態や異常があるときは使用しないでください。

こわれた状態や点検せずに異常のあるまま使用すると、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）勝手に改造しないでください。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車椅子を損傷させたりして事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

また、改造や補助動力装置を装着しますと保証の適用を除外されます。

整備が必要なときは販売店にご相談ください。

（）夜間や、雨降りなど悪天候の時は通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。

（）介助者は絶対に車椅子に乗って介護しないでください。

（）背もたれに重い物を引っ掛けないでください。 転倒の危険性があります。

（）屋外での長期間の保管は避けてください。 錆や故障の原因となります。

（）坂道の上がり下がりの際は、必ず介助者に支えてもらってください。

上がる時は前向きで、下がる時は後ろ向きで走行してください。

※ 坂道を前向きで下がると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。

（）車椅子に乗り降りの際は、必ずフットプレート（ステップ板）を上に跳ね上げてください。

※ 絶対にフットプレート（ステップ板）の上に乗って車椅子に乗り込んだり、降りられる時に立ち上がらないでください。車椅子ごと転倒する危険があります。

（）階段などで利用者が乗ったまま車椅子を持ち上げる場合は、固定されているパイプを3～4人でしっかり支えてください。

※ アームレストを持たない

※ フットサポートを持たない

▲警告

※ タイヤを持たない

※ 押し手ハンドルを持たない

※ ヘッドレストを持たない

(これらの箇所を持ち上げると、フットサポートやアームレストなどが車いすから外れるなど大変危険です。)

（）調整作業に不安があるときは調整しないでください。

部品が破損したり、外れたり、車椅子を損傷させる恐れがあります。

お近くの販売店へご相談ください。

（）ホイールの脱着後、固定を確認せずに使用しないでください。

ホイールが外れて転倒の恐れがあります。

（）落下、転落しないでください。

事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）不十分な調整状態で使用しないでください。

身体に無理をかけたり、床ずれ（褥瘡）などになる恐れがあります。

（）車軸前後位置は身体の状態に合わせて調整をし、無理な調整はしないでください。

転倒によるけがの恐れがあります。

（）50°C以上の高温になる場所（炎天下の4輪車内、暖房器具の近く）におかないでください。

高温になり、火災やパンクなどの恐れがあり、またパンクなどの部品を著しく傷める恐れがあります。

（）車椅子に巻き込まれやすい服装を避けてください。

ホイールなどに巻き込まれ、転倒によるけがの恐れがあります。

（）移乗時はチルトさせたままフットプレートに立ったり乗ったりしないでください。

車椅子を損傷させたり、転倒などによるけがの恐れがあります。

（）掃除するときなどにタイヤにワックス、油分を付けないでください。

ワックス等の油分が付くと、タイヤ、ハンドリムが滑り、十分なスピード調整が出来なくなり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）他の乗り物につかりながらの移動は危険です。

車椅子を損傷させたり、転落、転倒などによるけがの恐れがあります。

（）下り坂などのスピードの出しすぎは危険です。

衝突や転倒などの事故を起こしやすく危険です。

（）スピード調整は、必ずブレーキを使用してください。

（）一般道以外の荒地、悪路には入らないでください。

車椅子を損傷させたり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）凸凹の激しいところ（踏み切り、歩道の段差や溝）などは自力走行を避けてください。

キャスターホイールがはさまったり、フレームやホイールが損傷し、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。●介助してもらいましょう。

（）乱暴な取り扱い、無理な取り扱いをしないでください。

車椅子を損傷させ、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）滑りやすいところは自力走行を避けてください。

降雪、積雪、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップして、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。

（）ペットを連れて使用しないでください。

ペットに引きずられ、衝突や転倒などによるけがの恐れがあります。

⚠ 警告

- 🚫 傘をさして使用しないでください。
傘をさしての片手操作は不安定で危険。事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- 🚫 未使用時の車椅子に幼児を近づけさせないでください。
けがをしたり車椅子の下敷きになり、けがの恐れがあります。
- 🚫 運動機能が低下するものを摂取したときは自力走行しないでください。
事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- 🚫 ウィリーは十分練習するまで一人ではやらないでください。
転倒によるけがの恐れがあります。
- 🚫 エスカレーターの使用は避けてください。
ホイールなどを巻き込まれての事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- 🚫 急坂などの自力走行は避けてください。
転倒などによるけがの恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 点検、整備を怠ると故障や事故などによるけがの恐れがあります。
日常の点検、整備、および1ヶ月に1度各部の点検、整備をしてください。
- ❗ 上半身の不安定な方はベルトの装着をしてください。
- ❗ 移乗時、停車時、未使用時はブレーキをかけてください。
動き出して落下、転落、転倒などによる、事故やけがの恐れがあります。
- ❗ 車椅子は歩行者。必ず歩道を通りましょう。

安全に介助されるために。

- 🚫 回転部、可動部には触れさせないでください。
ホイールなどに巻き込まれ、けがの恐れがあります。
- 🚫 持たれる位置を指定してください。
介助者がけがをする恐れがあり、また落下や転落、転倒などによるけがの恐れがあります。

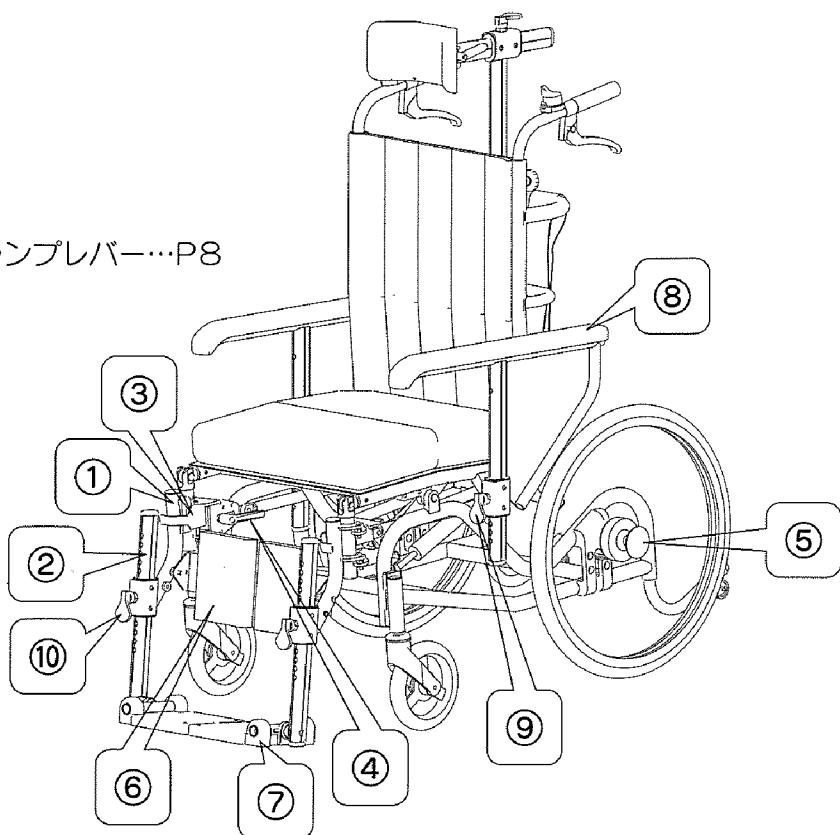
⚠ 注意

- ❗ 素足で使用しないでください。
けがの恐れがあります。
靴下などを履き、そこのある履物を履いて使用してください。
- ❗ タイヤを使って駆動しないでください。
タイヤとブレーキの間に手を挟まれる恐れがあります。
ハンドリムを使って駆動してください。
- ❗ 低温（-5°C以下）での使用、保管はしないでください。
各部品が損傷する恐れがあります。
- ❗ 面ファスナーは確実に取り付けてください。
固定力が低下し調整状態が変わります。
- ❗ 面ファスナーに付着した糸屑などは取り除いてください。
固定力が低下し調整状態が変わります。

各部の名称

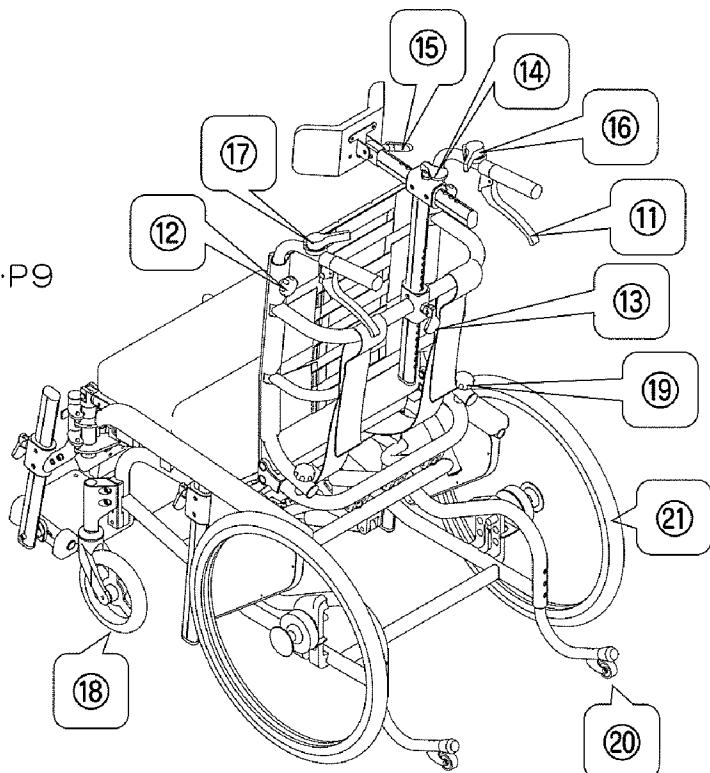
<前から見た図>

- ①レッグパイプ
- ②レッグポスト…P11
- ③スイングアウトレバー…P11
- ④エレベーティング微調整クランプレバー…P8
- ⑤ドラム式ブレーキ
- ⑥レッグサポート
- ⑦フットプレート…P11
- ⑧アームレスト…P10
- ⑨アームレスト高さ調整
レバー…P10
- ⑩レッグポスト高さ調整
レバー…P11

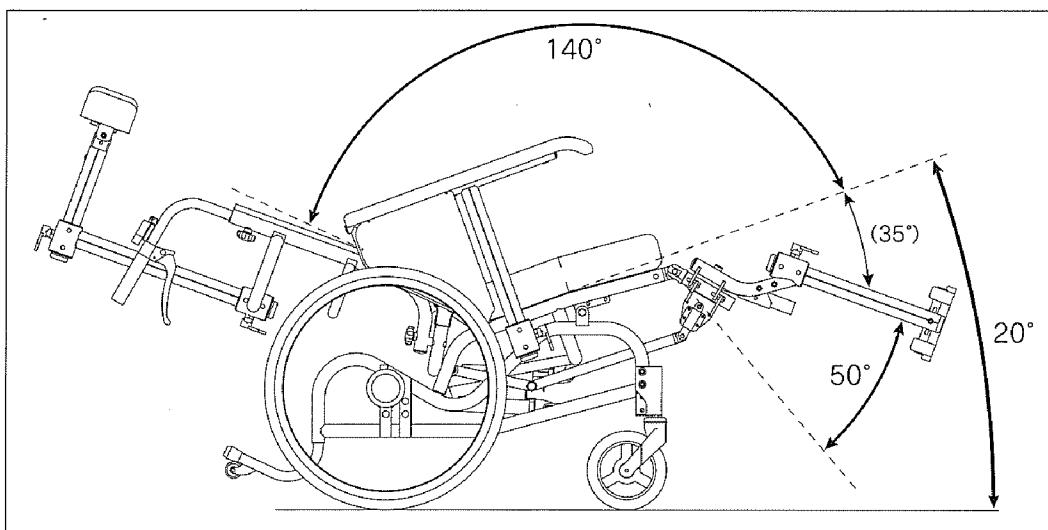
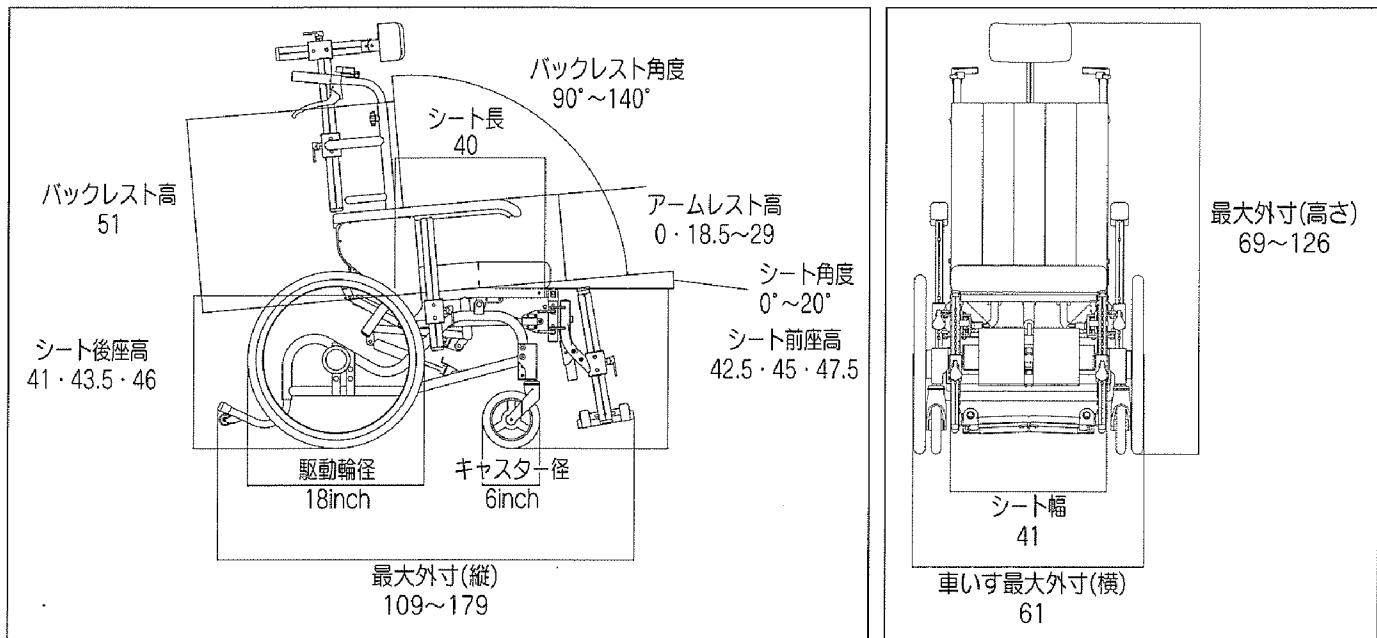


<後ろから見た図>

- ⑪介助ブレーキレバー…P15
- ⑫押手高さ調節つまみ…P12
- ⑬ヘッドレスト高さ調整レバー…P9
- ⑭ヘッドレスト前後調整レバー…P9
- ⑮ヘッドレスト角度調整クランプレバー…P9
- ⑯座面角度調整レバー…P7
(ティルティング)
- ⑰背もたれ角度調整レバー…P7
(リクライニング)
- ⑱前車輪（キャスター）
- ⑲折りたたみ用ノブ…P13
- ⑳ティッピングバー…P12・15
- ㉑後車輪



各可動域説明図



シート角度・リクリニング角度は座面後部を基準にしています。
前座面は、座面後部に対して-5°傾斜しています。

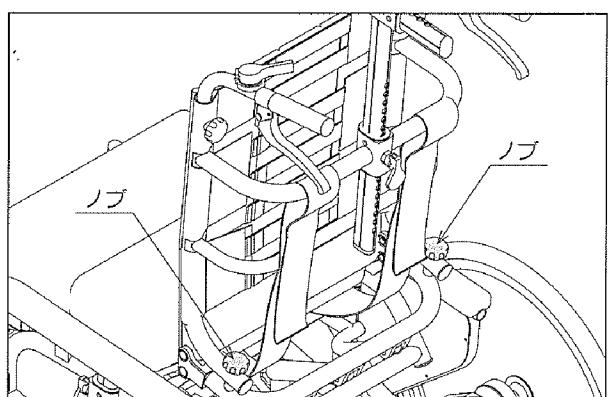
快適にご使用していただくために…

ご使用になる前に

背もたれをフレームに固定してください。

- ① 背もたれを起こします。
- ② 背もたれ下部のノブねじ2本を固く締め付けてください。

※閉め忘れるとき、転倒、故障の原因となります。



各部の操作方法と使用方法

<座面角度調整レバー（ティルト操作）>

レバーを握ると座面角度を調整出来ます。（0°～20°）

安全のためにワイヤーは1年に1度、定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。



- ティルトの操作時は必ず介助者が付き添ってください。
また、その際は、ブレーキがかかっているか確認してください。

ティルト（座面角度調整の利点）

- ・休息姿勢が取り易い。
- ・食卓や洗面台等へのアプローチが容易になる。
- ・座面側から姿勢を整え、姿勢、座位の安定性を向上させ、臀部への圧を低減させることにより座位姿勢での床ずれ（褥瘡）の発生を抑制させ、除圧効果が格段に高まります。

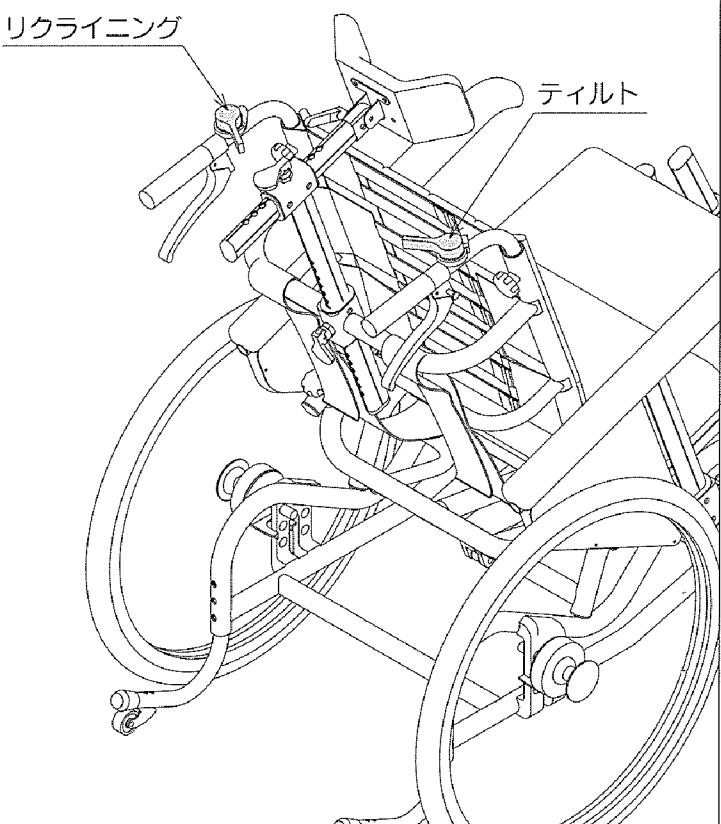
<背もたれ角度調整レバー（リクライニング操作）>

レバーを握ると背もたれ角度を調整出来ます。（90°～140°）

さらにリクライニングと連動して脚部全体がエレベーションする仕組みになっております。



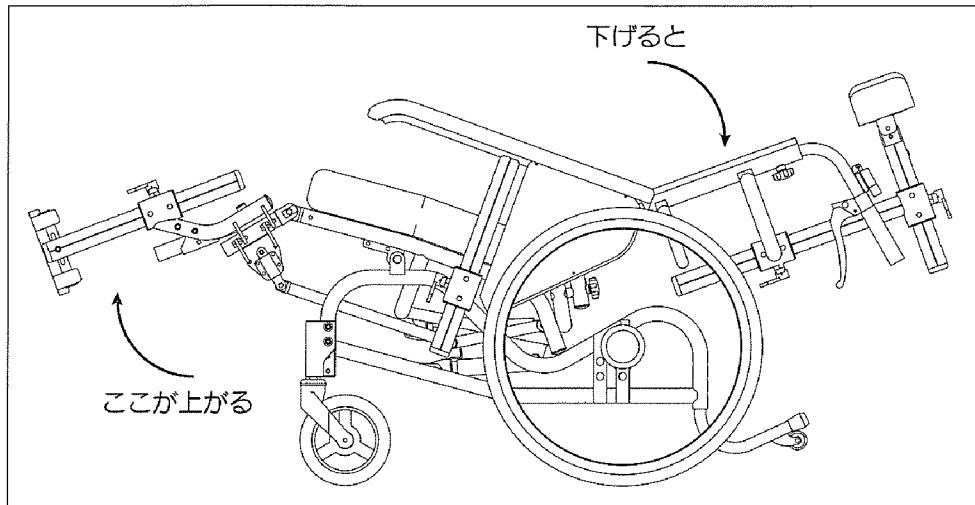
- 安全のためにワイヤーは1年に1度、定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。
- 乗員の重さが加わりますので、しっかりとハンドルを握り、支えてからリクライニングレバー、ティルトレバーを操作してください。背もたれが急に倒れて大変危険です。
- リクライニング、ティルティングする場合は、必ず介助者が付き添ってください。特に坂道での走行は、転倒に十分ご注意ください。
- 移乗時等でアームレストを座面まで下げる場合、手をはさまないようにご注意ください。
- ティルト・リクライニングのレバー操作時は、急な動作にご注意ください。



<エレベーティング機構>

エレベーティングはリクライニングの操作と同時に運動する仕組みになっております。操作の際は、脚部や金具等で手や衣類をはさまないように注意してください。

また、その際には必ずブレーキがかかっているか確認してください。急に車椅子が動き、事故の原因になります。



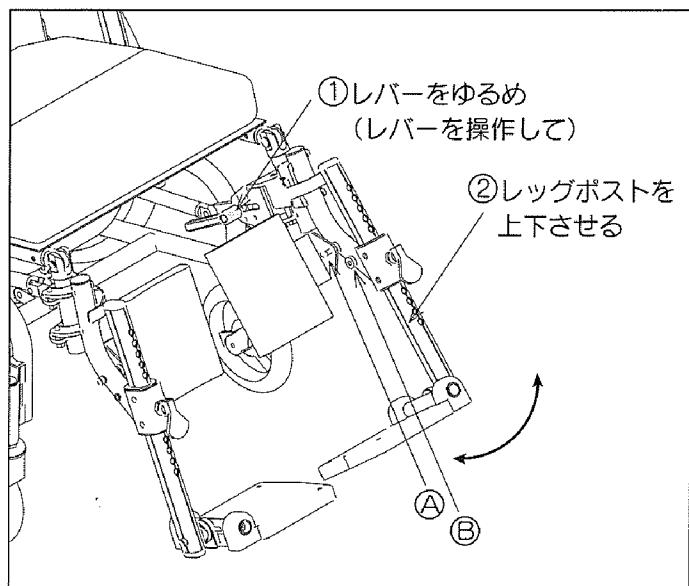
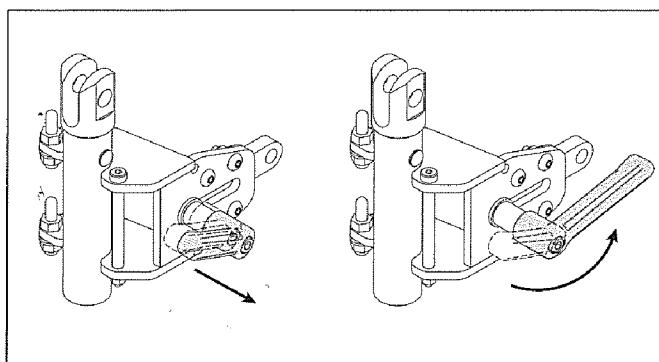
車椅子乗降時や移乗の際は、必ず介助者が付き添ってください。

<エレベーティング微調整の方法>

①のクランプレバーをゆるめ②のレッグポストを持ちながら、角度の調整をします。

<ふくらはぎパッドの位置調整>

ⒶⒷの位置を入れ替えることによりふくらはぎパッドの位置が調整出来ます。
(2段階)



<クランプレバーの取り扱い>

レバーを引き上げ、フリーになったレバーを足の当たらない任意の位置に回してください。

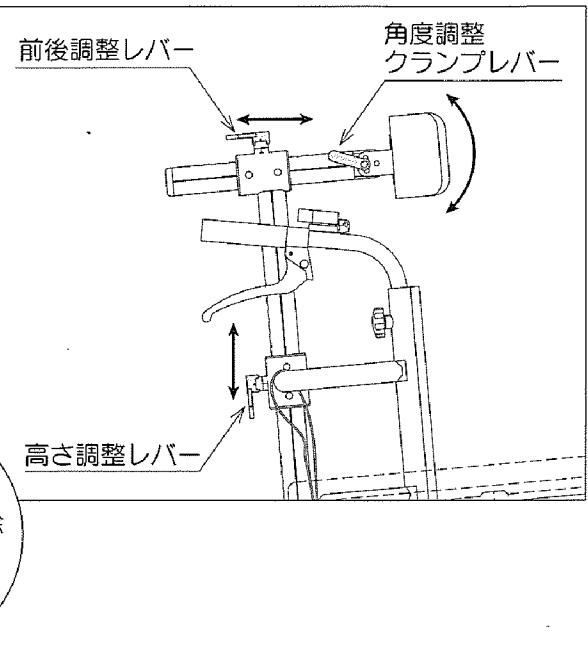
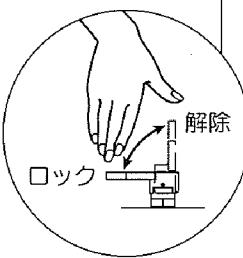
<ヘッドレストの角度・高さ・奥行き調整>

まず、ヘッドレストの高さを図の手順で調整します。次に背中の形状、頭部位置を合わせるように図のように調整し、最後に角度を整えることで後頭部の斜め下をしっかりと支えます。

前後15mm間隔10段階・上下15mm間隔18段階・角度無段階調整出来ます。



- 頭部や腹部などを圧迫するような固定は避けてください。
- 各レバーは調整後必ずロックしてご使用ください。



<背もたれ（調整ベルト）>

・横ベルト

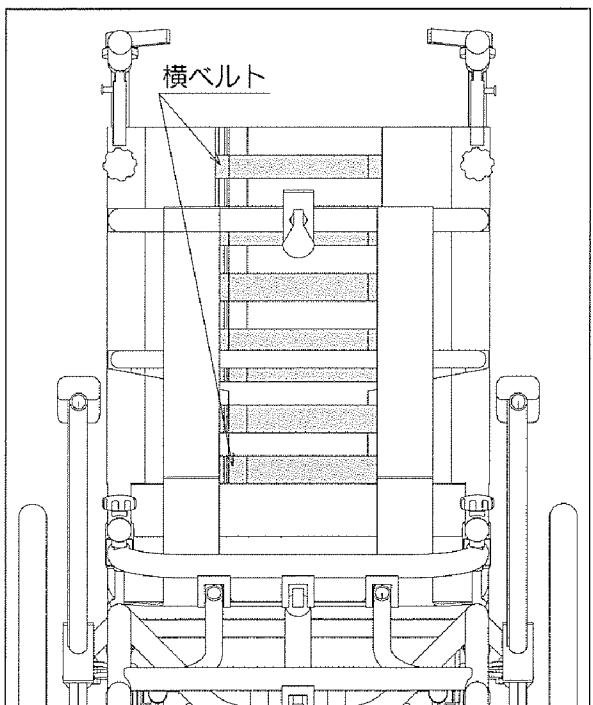
裏側の面ファスナーにより背の張り具合を調整出来ます。

面ファスナーで取り付けてありますので、必要に応じて張りの調整をしてください。

下から順に、背の形状に合わせて調整していきます。

背もたれ調整による利点

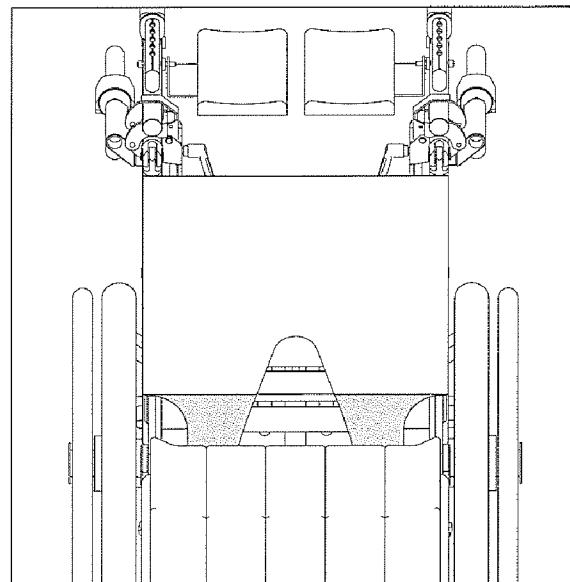
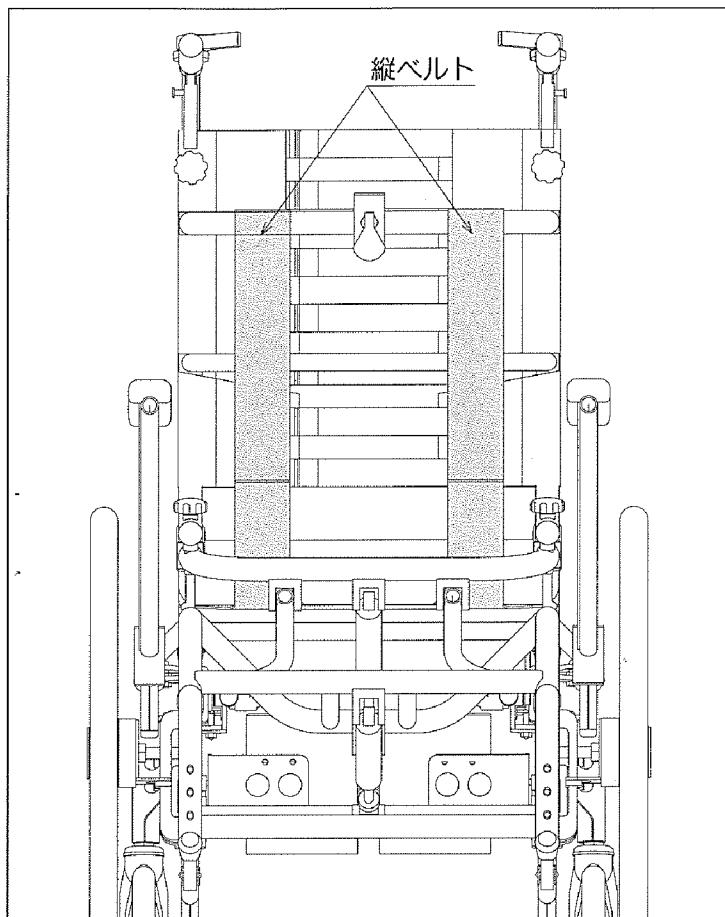
・適切な利用者の背中の形状に合わせた調整により、骨盤をしっかりと立たせ、体幹を保持することにより、上肢、頭部が動きやすくなると、食事、作業や会話がスムーズに進みます。



- 背もたれを緩めすぎて、背パイプとの接触に注意してください。
- 大きくリクライニングさせた状態でベルト調整をしないでください。
- ベルト調整をする際は出来るだけ起こした状態で調整します。
- ◆ 縦ベルト
 - 姿勢に左右差のある方やお尻の沈み込みは、縦ベルトで張りを整えることで調整出来ます。これは骨盤上部から腰部にかけてのサポートをしっかりと行うためで、搭乗者の安心を得られるように調整してください。

縦ベルト調整の利点

- ・姿勢に傾きなどの左右差がある場合、片方を張ることによって傾きを抑えることが出来ます。
 - ・実際に操作をしてみて、安定感の違いを感じ取ってください。
- 必要に応じて縦ベルト・横ベルトを調整し座面角や背角の調整を行います。



▲注意

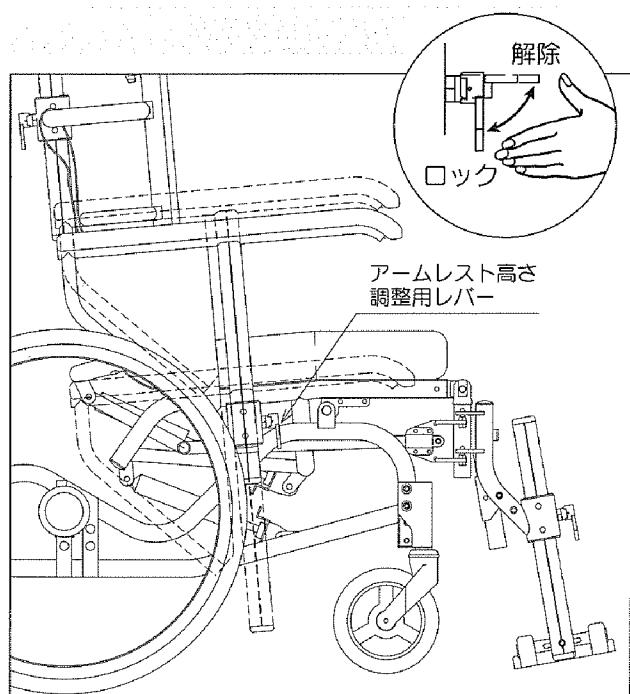
- ・ベルトを張りすぎないようにご注意ください。前滑りしやすくなります。
- ・背もたれを倒したまま縦ベルト調整をしないでください。

<アームレスト>

肘掛け下部の黒いレバーを起こし、アームレストを上げ下げすると、高さを15mm間隔8段階調整出来ます。また、一番下まで押し込むと座面の高さまで下げることが出来ます。

▲警告

- ・手を挟まないようご注意ください。
- ・調整後は必ずロックされているか確認してください。
- ・各レバーは調整後必ずロックしてご使用ください。

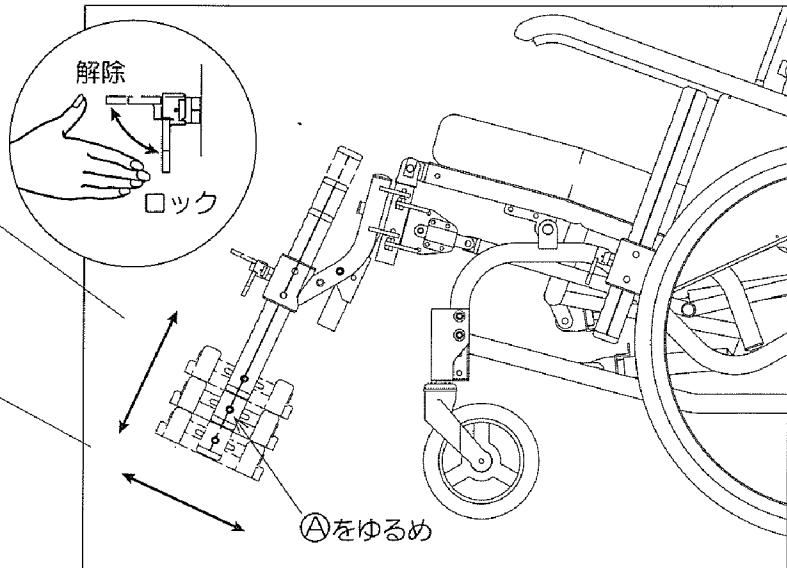


<フットプレート高さ・角度>

フットプレートの高さ調整

図のようにレバーを起こし、レッグポストの高さの調整をします。

15mm間隔14段階調整出来ます。



フットプレートの前後調整

図のようにボルトを緩め、もう片方の手でプレートを持ちながら前後調整をします。

フットプレートの角度調整

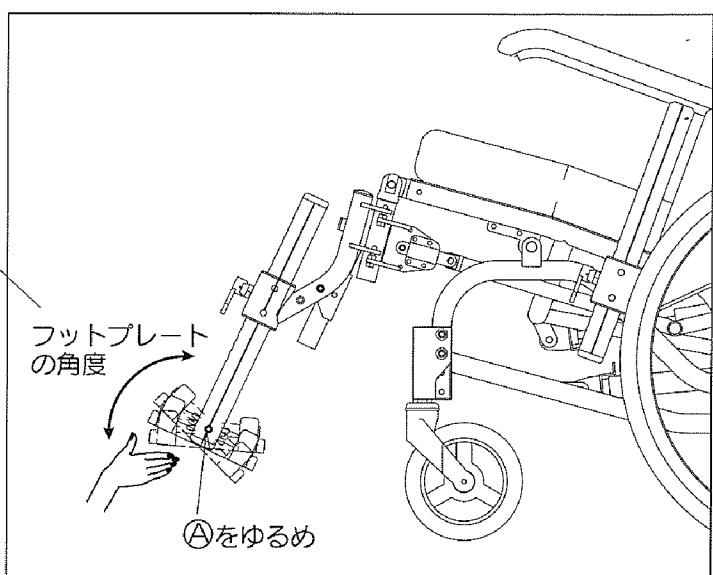
図のようにボルトを緩め、もう片方の手でプレートを持ちながら角度調整をします。

*調整には以下の工具をご使用ください。

付属の5mm六角レンチ



- 各レバーは調整後必ずロックしてください。
- 調整後はしっかりと固定されていることを確認してください。



<スイングアウト機構>

①レバーを押し、ロックを解除し、②外側へ廻します。

<スイングアウトする時>

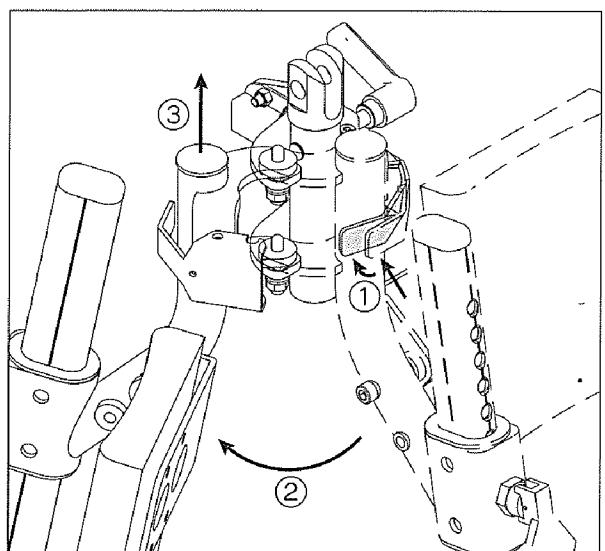
③外側へ廻した状態で、フットサポートを上へ引き抜くことが出来ます。

<戻す時>

カチッと音がして、ロックレバーが収まっていることを確認してください。



- 手や足を挟まないようご注意ください。
- 走行時のステップポストの高さは地面より5cm以上でご使用ください。低すぎると凸凹路面や障害物にフットプレートがあたり、転倒する恐れがあります。



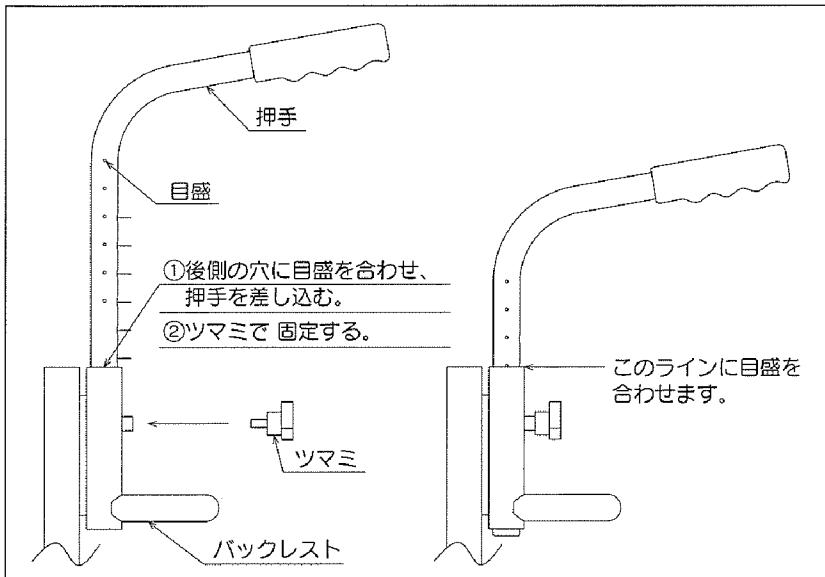
<押手高さ調整つまみ>

押手高さ調整レバー

1. つまみを図ののように回し押手を適当な位置に調整します。
2. 図のようにつまみを回し、押手パイプを固定します。



・必ずしっかり固定されているか確認してください。

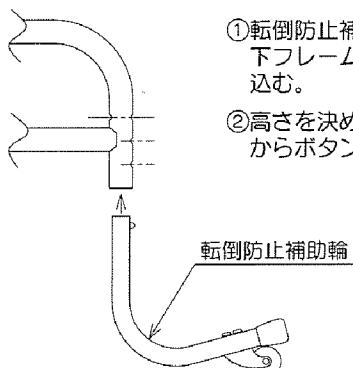


補助輪の高さは、ロックボタンを押し込んでロックを解除し、上下に移動させて調整します。

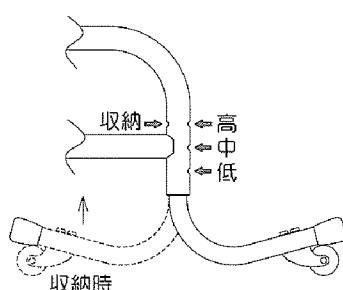
いちばん下まで伸ばすと、より確実に後方への転倒を防ぎますが、段差乗り越えの際、キャスター上げが制限されますので、ご注意ください。

補助輪を回転させることで段差が越えやすくなりますが、元に戻す事を忘れないようご注意ください。

転倒防止補助輪の取り付け



高さ調整について (ボタン位置)



・ロックボタンが出ているか確認してください。
・補助輪のボルトが緩んでいないか確認してください。

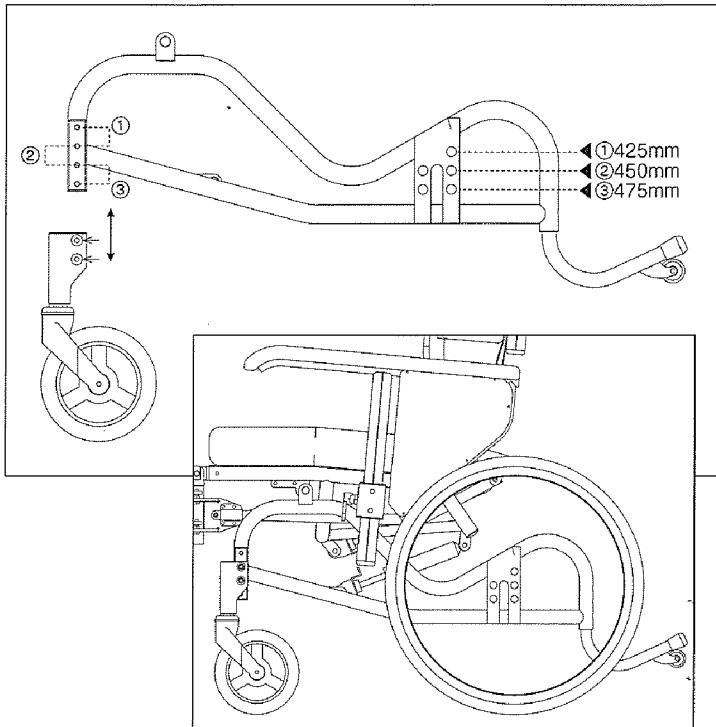
座面高の設定

座面の高さは3段階に調整することが出来ます。
調整の順序は、車軸受けプレート裏面のナットを緩め取り外します。
取り外した車軸受けを車軸受けプレートの穴（5箇所）のいずれかに装着します。（出荷時は最上部の穴に装着されています）
尚、軸受けの高さを調整した際にはキャスターの軸の調整が必要になります。

※調整には以下の工具をご用意ください。

六角レンチ（5mm）

スパナ（19mm）



- ・高さ調整をする際には前輪、後輪の位置にご注意ください。
- ・タイヤが完全にロックしているのを確認してから乗車してください。

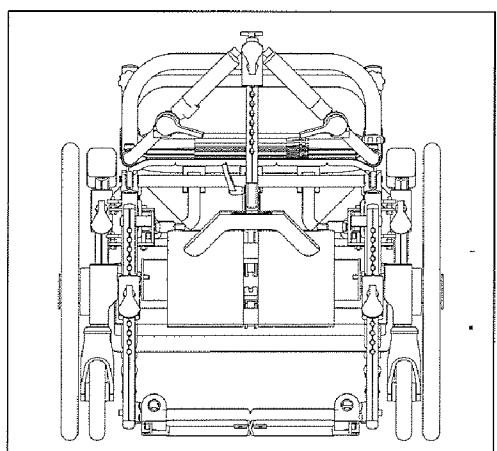
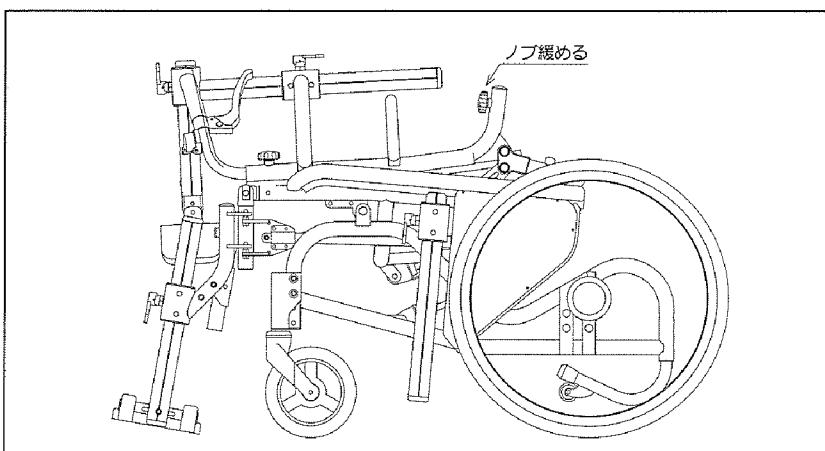
折りたたみ方式

アームレストを左右とも座面の高さまで下げます。

座面のクッションを取り外します。

座面後部・背もたれが下がっている場合は起こします。座・背ともに下がっている状態ではコンパクトに折りたたむことは出来ません。

背もたれを固定している背もたれ下部のネジを緩め、背もたれを前側に座面と平行になるまで倒してください。



ガススプリングについて

★ガススプリングの取り扱い上の注意

▲注意

- ・摺動部に注油は一切不要です。注油するとシールの耐久性をなくし油漏れの原因となります。
- ・衝撃を加えることは絶対に避けてください。油漏れ、作動不良、破損の原因になります。
- ・分解することは絶対に避けてください。高圧ガスが封入されていますので、分解する非常に危険です。
- ・曲げ荷重の負担がかかりますと曲げ方向の剛性が少ないので取り付けの精度によりロッドが曲がり作動不良の原因となります。
- ・ピストンロッドおよびシリンダーに打痕をつけるとシールの寿命を縮めたり、作動不良の原因になります。
- ・周囲の気温があまりに高い、または低い場所でのご使用はご注意ください。-20°C~80°Cの範囲内でご使用ください。
- ・雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所でのご使用は避けてください。

★ガススプリングの廃棄方法

廃棄する際は、次の注意を守ってください。この部品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

▲注意

- ・押しつぶさない。
- ・切断しない。
- ・図以外の場所に孔を開けない。
- ・火に入れない。

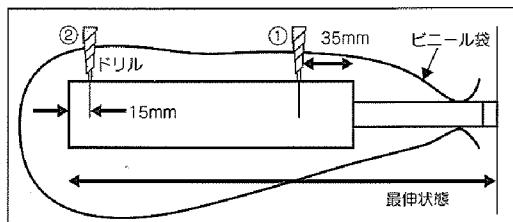
廃棄の手順

1. プッシュロッドを押し、最伸状態にする。
2. ビニール袋をかぶせ、その上から2~3mmドリルで①の孔をあけ、ガス・油を抜いたあと②の孔を開けてください。（※注意 必ず手順を守ってください。）

※ビニール袋を使用しない場合は、油や切粉が飛びますので十分ご注意ください。（この場合、メガネをかけて作業してください。）

下図の要領で孔を開け、ガス抜きをしてから廃棄してください。

- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかったらご使用を中止してください。



左図の要領で孔を開け、ガス抜きをしてから廃棄処分してください。

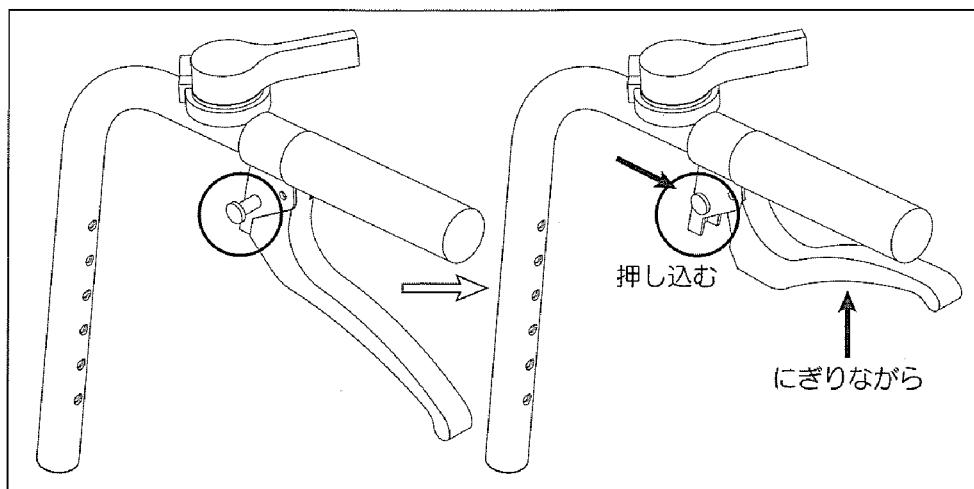
介助ブレーキ・駐車ブレーキ

走行中や下り坂での制動ブレーキとしてご使用ください。

ブレーキレバーを握るとブレーキがかかり、離すと解除されます。

また、図のようにブレーキレバーをにぎり、パーキングボタンを押し込むと駐車ブレーキとなります。

ブレーキワイヤーは1年間に1度、定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。



●車椅子乗降時には、必ずブレーキをかけ、車椅子が固定されていることを確認してください。

※傾斜地では駐車しないでください。

傾斜地ではブレーキをかけても車椅子が動く場合があり、大変危険です。

※滑りやすい床面ではブレーキをかけても車いすが動く場合があります。

●駐車ブレーキは必ず手で操作してください。足などで操作するとブレーキが破損します。

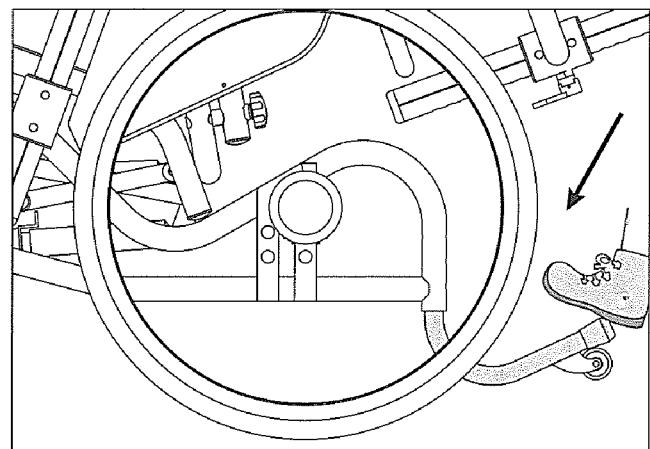
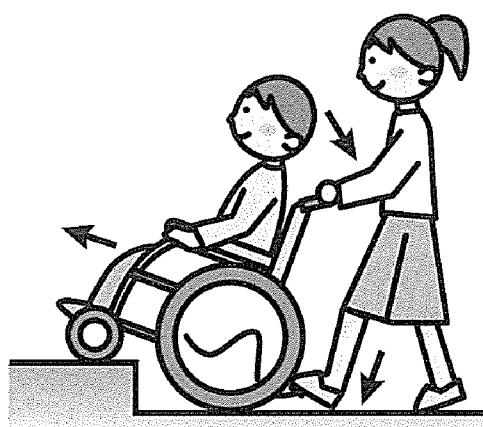
●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

段差乗り越えの方法

ティッピングバー

段差の手前で、介助者が押手を押し下げながら、ティッピングバーを脚で踏み、前輪を持ち上げます。

※押手だけで前輪を浮かそうとしますと、破損の原因になりますので、必ずティッピングバーを踏みながら行ってください。



車椅子の保守・点検

★変な音がしませんか？

★四点接地していますか？

フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

★ネジの緩みはありませんか？

★シートに破損やたるみ、傷みはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨にぬれる場所に放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損わない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

★フットレストはしっかりと固定されていますか？

付属品のスパナを使って、ステップパイプ先端のボルトを緩め、適当な高さに合わせた後、ボルトを完全に締めてください。

★車輪やキャスタはしっかりと固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。十分ご確認の上、しっかりと固定してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

強いオゾンによる消毒はお避けください。変色や劣化等の原因になります。また、洗浄後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。強いオゾンでの消毒はタイヤの変色や劣化の原因となります。

★ワイヤーは切れていませんか？

リクライニングワイヤー、ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。

- スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかったらご使用を中止してください。

車椅子の主な乗り方<各部の点検・保守方法>

●タイヤの空気が十分入っているか確認しましょう。

●下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。

●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。

●車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

★移乗

車椅子に乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。

双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。

介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がらせます。介助者の膝で相手を支えながら、車椅子の方へお尻を向ける。ゆっくりと腰を下ろしてもらう。

※「いち、にのさん」と声をかけながらおたがいに協力し合いましょう。

*車椅子の廃棄について

不要になった車椅子は、販売店に処分を依頼するか、自治体の大型ゴミの処分方法に合わせて回収してもらってください。



•不法廃棄はしないでください。

仕様

品名・名称 標準仕様・規格

愛歩FB

座幅		(mm)	410
前座高さ		(mm)	425(410~470)・450(435~495)・475(460~520)
レッグ長さ		(mm)	310~505(15mmピッチ 14段階)
シート奥行き		(mm)	400
背もたれ高さ		(mm)	513
アームレスト高さ		(mm)	0・185~290(15mmピッチ 8段階)
全高		(mm)	686~1260
全長		(mm)	1093~1785
全幅		(mm)	607
折りたたみ時	全高	(mm)	702
	全長	(mm)	1021
	全幅	(mm)	607
重量		(kg)	約23
ティルト角度	(対地面)	(度)	0~20
リクライニング角度	(対座面)	(度)	90~140(90~160(対地面・最大))
エレベーティング角度	(対座面)	(度)	-35~-85(リクライニング運動)
タイヤ(後車輪)	(タイヤ)	(inch)	18×1 3/8 エアータイヤ
	(チューブ)	(inch)	18×1 3/8 英式バルブ
	(ハブ)		28穴 固定ドラム式
キャスター(前車輪)		(inch)	6 ソフト樹脂ヨーク バッキン式
フレーム			アルミ 背もたれ折りたたみ式
背シート			ポリエステル(フレッシュ 黒)
座シート			ポリエステル(フレッシュ 黒)
ヘッドレスト	前後調整	(mm)	15mmピッチ 10段階調整
	高さ調整	(mm)	15mmピッチ 18段階調整
	(パッド)		ポリエステル(フレッシュ 黒)、心材(木、アルミ)
肘掛け/アームレスト			
	(肘あてパッド)		上下収納式(8段階調整) ウレタン 黒
	(側板)		高耐久性塩ビプレート
フットレスト			スイングアウト・リクライニング運動エレベーティング式
	高さ調整	(mm)	15mmピッチ 14段階調整
	(レッグレストパッド)		ポリエステル(フレッシュ 黒)、心材(木)
	(ヒールサポート)		ポリエステル 黒
	(ステップ)		前後調整・角度調整式
	(ステップ板)		樹脂製 黒
	(ステップポスト)		19×34mm角パイプ アルミ メッキ処理
ハンドグリップ	(にぎり)		φ19mm用 黒 PVC
ガススプリング	(ティルティング用) (リクライニング用)		高圧ガス噴入式 反発力45kg ストローク70mm 高圧ガス噴入式 反発力45kg ストローク90mm

保証書

保証期間は、納品日より1年間です。

保証期間中に取扱説明書に従った正常な状態、または、製造上の欠陥において故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。

保証期間内でも次の場合は、有料修理となりますのでご了承ください。

- (a)保証書をご提示されないとき。
- (b)本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
- (c)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (d)落下による故障または、損傷。
- (e)火災、地震、水害、塩害、その他天変地異ならびにその他の外部要因による故障または損傷。
- (f)日常使用における損耗。(タイヤの磨耗及びパンク、シートの破れ、塗装の損傷など)
- (g)激しいスポーツでの使用による故障または損傷。

修理のために製品を発送される場合の送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

保証期間	年 月 日より	1年間
品 名	i-LAPPO	車体NO.
お客様	お名前	
	〒 ご住所	TEL () -

生産物賠償責任保険付 ※改良・改善の為、予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

■製造元



HUMAN SOLUTION
カナヤママシナリー株式会社
〒938-0013 富山県黒部市沓掛3259
TEL 0765-52-0888 FAX 0765-54-4686

●販売特約店